

運動部だより

34号

明星中学高等学校
運動部会発行

平成29年11月24日(金)

高校女子ハンド

11月23日、中央大学附属高校

体育館で東京都秋季大会女子決勝リーグ第3戦が行われ、明星高校は東京都優勝をかけて今年初の夏全国優勝を果たした。対戦した。開始直後、相手に先制を許すが安部が入り返し、野口・香田も得点をあげ前半10分までは互角の試合展開、中盤11分から19分まで明星ノーゴール、相手に4得点され3対6、佐藤監督はタイムアウト、ここから明星が盛り返し安部が2本、新里が1本決め前半終わって6対10とする。後半、明星怒涛の攻撃、多田・長谷川・新里の得点で10分、11対13と2点差とし、後半16分には長谷川・野口・多田の執念のシュートで15対16、1点差まで追い詰めた。微妙な判定、ファウル、アドバンテージ?退場、多田のシュートは強烈で相手も必死、ファウル覚悟で止めにくく、それをねのけ多田はシュートを入れた、得点が認められ、相手は退場、ここから俄然有利と思われたが、退場は無し、観客・明星応援団は騒然となった、観客は総立ち、明星を応援、あと一歩、あと1点、ベンチ・応援団は声を震らし、手に汗を握り応援した。全国優勝校を追い詰めている。明星の選手の声が体育館に響き渡る。躍動する明星、最後の最後まで走り抜いた。後半の得点は14対14の同点。20対24の惜敗で試合は終わった。悔しい敗戦、互角の試合内容にも満足はしない。東京都準優勝、春の全国選抜関東予選大会の出場権を獲得した。ここでもう一度、チームのバージョニアップを図り全国を目指す。東京都準優勝おめでとう!!全国大会出場目指して頑張れ!!試合後、佐藤監督は「選手はあきらめずに最後まで自分達の力を発揮しよう」と戦い抜きました。何としても勝たせてあげたからです...、選手には申し訳ないです」と話された。「誇り高き敗者」と選手の健闘を称え、次の大会へ向けて自信をたぎらせていた。

頑張った選手たちに拍手を贈る!!次はワンワン ナンバーワンになって欲しい。

【ベンチ入りメンバー】佐藤・多田・新里・安部・本多・桑原・野口・小林・後藤・夏知
長谷川・八巻・香田・橋爪・渡辺・横山

中学高校剣道 段審査会

11月23日、八王子エスフォルタアリーナで西東京三段以下審査会が行われた。明星からは中学1年の山下が初段、高校2年の山本が三段を受験した。緊張する審査会ではあつたが受験した二人は普段の力を遺憾なく発揮、見事合格となった。おめでとう。精進!!

初段合格 山本陽平 三段合格 山本 達

♪山は夕焼け 一番星は 母によく似た きれいな瞳 つらいときにも 勇気を出して
♪正しい事を やりとおす おう! がんばれ 強いぞ 僕らの仲間 赤胴鈴之助 ♪

高校男子ハンド

11月23日、中央大学附属高校

体育館で東京都秋季大会男子決勝リーグ第3戦が行われ、東京都3位をかけて東海大学菅生高校と対戦した。2敗で迎えた第3戦、来年の夏を見据えてチーム

立て直しの第1戦としたところ、試合開始早々、金森が得点、今泉颯・今泉太が連続得点で4対1、試合の主導権を握りかけたが中盤追いつかれ逆転され9対13で前半を終わる。後半に入ると息を吹き返した明星は8分に加藤・寺内の連続ゴールで14対14と同点に追いついた。相手はたまたまずタイムアウト、その後、一進一退の攻防、シーズンゲーム、時間は流れ試合終了のブザー、その時、明星23対24、1点追いかけている時に試合は終わった。悔しい敗戦、春・夏にリベンジを誓う。今までやって来た事に間違いはない。練習は裏切らない。自信を取り戻せ。目標はインターハイ!!頑張れ!明星健児!!

高校男子バドミントン

11月23日、淑徳巣鴨高校体育館で西東京決勝トーナメントが8チームで行われた。優勝チームは全国選抜大会に出場する。明星は予選を勝ちあがり、1回戦、都立狛江高校と対戦した。シングルス1の石井が勝利、ダブルス2の大久保・西沢ペアが1セット目を勝利、粘るが敗戦。各選手共に粘るが1勝3敗で敗戦となった。悔しい敗戦だが、対戦した狛江は準決を勝ちあがり決勝進出、全国へあと一歩と迫った。

小林監督は「オーダーが外れ、選手には申し訳ない事をした。全国出場を争える所まで選手は成長してきていると思います」と話され選手の健闘を称えられた。高校から始めた選手の多い明星、会場でも各校指導者から注目を集めたと聞く。選手の頑張りとOBの指導、先生の情熱、明星の名前が大きく響き渡る。頑張れ!!

☆ 誰が一番 ☆

明星は緑が多い、イチョウの葉も色づき、桜・櫻も落ち葉を散らす。ここ2週間くらい毎朝、落ち葉掃きをしている集団がいる。美少女隊3名と坊主軍団+2、合計7名くらい。

- Y教諭 : 罰当番か?
- 坊主A : いいえ、ボランティアです。心と体を磨いています。
- Y教諭 : 本当かよ? 心と体・・・磨くね～ 面白いこと言うね。
- 坊主B : 本当です。
- 美少女隊 : 私達女子は本当にボランティアです。

☆ 誰が一番 学校を“一番”綺麗にしているのは、美少女隊プラス4名の男子でした。
美少女隊 岡・安部・佐藤 坊主軍団+2 皆川・内藤・杉山・三好 ありがとう!!

秋季大会 東京都4位

	明星	関東一	昭和一	東海菅生	勝	敗
明星		22●28	16●29	23●24	3	敗
関東一	○		●	○	2	勝1敗
昭和一	○	○		○	3	勝
東海菅生	○	●	●		1	勝2敗

11月23日、中央大学附属高校体育館で東京都秋季大会男子決勝リーグ第3戦が行われ、東京都3位をかけて東海大学菅生高校と対戦した。2敗で迎えた第3戦、来年の夏を見据えてチーム

西東京決勝トーナメント

11月23日、淑徳巣鴨高校体育館で西東京決勝トーナメントが8チームで行われた。優勝チームは全国選抜大会に出場する。明星は予選を勝ちあがり、1回戦、都立狛江高校と対戦した。シングルス1の石井が勝利、ダブルス2の大久保・西沢ペアが1セット目を勝利、粘るが敗戦。各選手共に粘るが1勝3敗で敗戦となった。悔しい敗戦だが、対戦した狛江は準決を勝ちあがり決勝進出、全国へあと一歩と迫った。

小林監督は「オーダーが外れ、選手には申し訳ない事をした。全国出場を争える所まで選手は成長してきていると思います」と話され選手の健闘を称えられた。高校から始めた選手の多い明星、会場でも各校指導者から注目を集めたと聞く。選手の頑張りとOBの指導、先生の情熱、明星の名前が大きく響き渡る。頑張れ!!

☆ 誰が一番 ☆

- 1D 岸田・中島 (14-21) (18-21)
- 2D 大久保・西沢 (21-16) (14-21) (19-21)
- 1S 石井 (21-14) (21-11)
- 2S 大久保 (19-21) (15-21)
- 3S 西沢 (12-21) (18-21)

☆ 誰が一番 学校を“一番”綺麗にしているのは、美少女隊プラス4名の男子でした。
美少女隊 岡・安部・佐藤 坊主軍団+2 皆川・内藤・杉山・三好 ありがとう!!

